

数学 広島大学 III型 (前期日程)

<全体分析>

試験時間	150分	解答問題数	5題
------	------	-------	----

解答形式

記述形式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

昨年に引き続き、数学IIIからの出題は2題。

II B型との共通問題が2題であった。

その他トピックス

データの分析が初めて出題され、確率の出題がなかった。

複素数平面は2020年度以来の出題であった。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]	データの分析	I	変数変換による分散、共分散、相関係数の値	やや易
[2]	空間ベクトル	B	平面に関する対称点	易
[3]	整数の性質 数列	A B	一次不定方程式、平面上や空間内の格子点の個数	標準
[4]	複素数平面	III	円上を動く点を変換した点の軌跡	やや難
[5]	微分法・積分法	III	不等式の証明と面積 Log2 の小数第1位の数字	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

まず全分野にわたり基本を身につけたうえで、融合問題に取り組んでおこう。

計算量の多い問題にも対応できる計算力を養っておこう。